

旧約五書シラバス

目 的

旧約五書の緒論とその聖書神学を学びます

内 容

組織神学的な前提を絶対視せずに、できるだけ旧約テキストが提示している神学を検討したいと考えています。各書の中で重要と思われる神学的課題を拾い上げて検討していきます。

評 価

1. 講義中に出されるアサイメント
2. レポート

以下の課題の各グループ A, B, C から 1 題を選び、指定された期日に提出してください。E-mail (添付) で送付してください。

A. 提出期日 12月2日

1. 五書の4資料説について述べ、評価してください
2. アブラハム契約の意義と、後代に与えた影響について述べてください
3. ヨセフ物語の神学的主題について評価してください

B. 提出期限 2月3日

1. 戦士ヤハウエの考え方を評価し、現代的意義を議論してください
2. 創世記 4:26 と出エジプト記 6:2-3 との関係の理解について述べてください
3. 救済神学と創造神学との関係について議論してください

C. 提出期限 3月17日

1. シナイ契約における律法の意義について評価してください
2. 旧約における「聖」の意義を議論してください
3. 五書における「土地」の課題を評価し、現代的意義について述べてください

★各レポートA 4, 5 枚以内でお願いします。

★各課題の扱う範囲は広いですから、一般的な課題として検討して下さっても結構ですし、その課題に関わる具体的な問題（聖書箇所、教会現場での出来事、あるいはご自分の問題意識など）を取り上げて下さっても結構です。

★評価について

減点法で行います。評価基準は、①論理的に論述されているかどうか ②内容に見合った構成であるかどうか ③自らの意見として提示できているかどうか この3点を中心とします。

学生の方々の意見をまとめることが課題レポートの趣旨になっています。従って、内容そのものへの意見を応答として講師が述べることはあると思いますが、内容について講師と意見が違っているからと言って減点にはなりません。逆に講師と同じ意見であっても、以上の評価に照らして減点することがあります。論述された内容をご自分のものとして理解し、それをレポートできているかどうか、この2点が重要だと考えています。